

各位

上場会社名	新報国製鉄株式会社
代表者	代表取締役社長 成瀬 正
(コード番号)	5542)
問合せ先責任者	常務取締役 森 善男
(TEL)	049-242-1950)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年2月19日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,100	△70	△50	△50	△15.83
今回発表予想(B)	1,572	△173	△177	△162	△51.34
増減額(B-A)	472	△103	△127	△112	
増減率(%)	42.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年12月期第2四半期)	987	△616	△593	△556	△175.71

平成22年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,700	0	25	25	7.92
今回発表予想(B)	3,450	△40	△45	△50	△15.84
増減額(B-A)	750	△40	△70	△75	
増減率(%)	27.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	1,835	△1,138	△1,081	△1,190	△376.45

平成22年12月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	900	△20	0	0	0.00
今回発表予想(B)	1,455	△27	△16	△22	△7.09
増減額(B-A)	555	△7	△16	△22	
増減率(%)	61.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年12月期第2四半期)	772	△477	△434	△436	△137.89

平成22年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,300	25	50	50	15.83
今回発表予想(B)	3,150	25	40	25	7.92
増減額(B-A)	850	0	△10	△25	
増減率(%)	37.0	0.0	△20.0	△50.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	1,413	△903	△818	△1,007	△318.42

修正の理由

(連結)

第2四半期につきましては、売上高は液晶露光装置用低熱膨張鋳鋼の受注増加により前回予想を上回りました。損益は売上高が増加したものの、生産拠点の移転による初期の品質面でのロスが計画を上回り、また、キャッシュ・フロー健全化のため滞留棚卸資産の売却をあえて廉価にて促進したことにより赤字が前回予想を上回りました。

通期につきましては、売上高は液晶露光装置用低熱膨張鋳鋼の受注増加により前回予想を上回り、損益は下半期では当初予定どおり黒字転換を予定しておりますが、上半期での損失を補填できず、前回予想を下回る見込みです。

(個別)

第2四半期につきましては、売上高は液晶露光装置用低熱膨張鋳鋼の受注増加により前回予想を上回りました。損益は売上高が増加したものの、キャッシュ・フロー健全化のため滞留棚卸資産の売却をあえて廉価にて促進、並びに原材料売却益が計画を下回り、また、土壌調査費用等の特別損失が固定資産売却益等の特別利益を上回ったことにより前回予想を下回りました。

通期につきましては、売上高は液晶露光装置用低熱膨張鋳鋼の受注増加により前回予想を上回り、損益は下半期では当初予定どおり黒字転換を予定しておりますが、上半期での損失を補填できず、前回予想を下回る見込みです。

以上